



## 新任の先生方からのメッセージ

### <英語教育コース>

平良一史（たいら かずふみ）講師



はじめまして、令和2年4月1日付で教育文化学部に着任いたしました平良一史と申します。所属は英語教育コースです。出身は沖縄県で、嘉手納と呼ばれる町で育ちました。地元嘉手納町では町が運営する嘉手納外語塾という学校で2年間、主に英語を学んでおりました。英語力をさらに伸ばすため、琉球大学法文学部国際言語文化学科に進学し、異文化コミュニケーションを専門としておりました。琉球大学とハワイ大学マノア校は交換留学制度を設けており、私はその制度を活用して約10ヶ月間ハワイ大学マノア校で学ぶことができました。琉球大学卒業後はハワイ大学マノア校コミュニケーション学修士課程、同大学教育心理学科博士課程を修了し、約12年間ハワイで生活しておりました。

英語というツールを用い、ハワイでは授業を受け、働き、地域活動に従事し、日常生活を過ごすことができました。ハワイで気付かされることはその文化的多様性であります。移民の歴史を持つハワイでは、ハワイ、アメリカ、沖縄、日本、中国、韓国、フィリピン、ポルトガル文化など多様な文化が融合し、共存しております。また、ピジン英語と呼ばれるハワイの住民が話す英語や、それぞれの文化の影響を受けた英語など、英語も多様性を有します。その地域、生活に根ざした文化・英語が存在することを体験しました。

英語教育に携わってくださった方々のおかげで、私は貴重な異文化交流・言語の経験をし、学問的・人間的刺激を得ることができました。英語教育は私の人生を変え、将来への希望を与え、人として成長する機会を与えてくれました。今度は私が英

語教育に携わっていき、若い世代の育成に貢献していきたい所存であります。英語の活用と異文化体験を通して成長することができた経験を学生の皆さんと共有し、英語習得と異文化理解の手助けをしてまいりたいと存じます。

### <理数教育コース>

原田勇希（はらだゆうき）講師

4月により秋田大学教育文化学部に着任いたしました原田勇希と申します。大学は桜が綺麗に咲いていますね。本来なら、新しい日常のスタートに花を添えてくれるはずでしたが、今年は学生に見てもらえることもなく、凜と咲く様には悲哀が漂っています。私も着任して2週間以上が経ちますが、まだ学生には一度も会っていません。

今年は学生の皆さんにいつお目にかかれるかわかりませんが、簡単に自己紹介をします。私は「理科教育学」や「理科教育学演習」の授業を担当します。中学校や高校の理科教師を目指しているみなさん、どうぞよろしくお願いたします。出身は札幌市ですので北国の気候には慣れています。それでも寒いのは辛いです…。

私の研究内容は理科教育を対象とした心理学的研究です。例えば、「理数系教科



は他の教科よりも苦手…」という子どもは多いのですが、「理数系教科が得意！」と感じている子どもと何が異なるのか、個人差が生じる原因は何なのか、それを明らかにすることが目標です（最近の研究では、視空間認知の個人差、つまり脳の個性が強く関わることが分かってきています）。他にも理科の学習意欲（動機づけ）の研究を進めており、いつから、そしてどのような背景で理科の学習意欲が低下していくのか、データに基づいた検討をしています。

私の研究を一言でまとめると、理科教育の基礎研究です（そう言えるよう頑張っています！）。そして優れた現場の先生方と協力しながら“基礎”と“実践”の融合を目指した授業づくりに取り組んできました。理科教育を科学的に考えてみたいという学生とたくさんディスカッションできる日を心待ちにしています。直接会えなくてもメールはいつでも大歓迎です。

最後になりますが、秋田の教育の発展のため、そして学生の皆さんのこれからの人生がより豊かなものになるよう、精一杯教育と研究に邁進して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

### <こども発達コース>

鈴木 翔（すずきしょう）准教授

私の嫌いな食べ物はトマトです。まったく食べられません。食わず嫌いだという疑いをかけられて、これまでの人生で何度も挑戦されてきましたが、噛んだ瞬間に吐きます。ミニトマトはもっと最悪です。トマトが凝縮された味がします。しかし、世の中にはトマトが大好きな人もいて、トマトの美味しさや魅力をプレゼンしてくる人もちよくちよく現れます。先日は、私がトマトを食べられないということを知っているにもかかわらず、フルーツトマトという新種？のトマトを渡して来た方がいました。いわく、「このトマトは甘みがすごいから、全然トマトっていう感じがしないよ」ということでした。



食べてみると、普通にトマトだったので吐きました。

では、なぜ彼らは私にトマトを勧めてくるのかというと、たぶん100%善意なのだと思います。自分が大好きなトマトを嫌い

になって欲しくない、この美味しさをわかってほしい。その一心なのでしょう。しかし、私はそこまでしてトマトを食べる必要があるのでしょうか。もう一生食べる気はありません。

ただ、よく考えてみると、このトマトのような話は、子どもや学校教育を対象にした話でもありふれている気もしてきます。たとえば、「自分は修学旅行で友だちがたくさんできたから、修学旅行は不登校の子どもにも絶対行かせるべきだ！」とか、「自分は部活動に入っていたおかげで忍耐力がついた。だから部活動は全員参加にすべきだ！」とか、そういった類のものです。

私が専門とする教育社会学は、様々なデータを多角的に分析することによって、教育事象の実態を描き出し、そこから最善策を導き出そうとする学問です。これからの授業では、私も「トマト」を「教育」に置き換えた話をしないように気をつけていきたいと思っています。

### <こども発達コース>

保坂和貴（ほさかかずたか）講師

はじめまして。4月から教育文化学部こども発達・特別支援コースに着任しました保坂和貴です。高校卒業を機に上京し24年、干支二回りほど時間が過ぎました。前職は北海道深川市という小さな街にある拓殖大学北海道短期大学で保育士・幼稚園教諭を育て



る仕事をしていました。専門は、一言で言うと「遊び」の研究です。子どもたちが「遊び」のなかで発揮する想像力・創造力などの力を、幼児教育や保育、学習・発達心理学など多くの学問領域を跨ぎながら研究しています。

近年は研究者でありながら「舞台屋」として過ごす時間が多かったかもしれません。学生とともに人形劇や影絵劇をつくり公演していたのが、どんどん広がり、幼児教育・保育の現場や社会教育施設などから声をかけてもらえるようになりました。劇団の稽古場に入れてもらったり、俳優さんと一緒にトレーニングしたり、気がつけば「ワークショップをしてください」と呼ばれるようになりました。それもこれも前の職場でやっていたミュージカルとの出会いがきっかけです。興味の

ある人は「拓大ミュージカル」で検索してみてください。なかなか本格的ですよ。

さて、新型コロナウイルスによって一番初めに打撃を受けたのが舞台です。仲良くしている劇団も公演の延期や中止を余儀なくされました。みなさんが好きな音楽アーティストも影響を受けたことでしょう。これからどうなっていくか、おそらく社会の仕組みが根幹から変わってしまうことでしょう。でも、そんなときだからこそ舞台芸術などの「アート」が求められる。私たちに寄り添い夢や希望を与えるのが広い意味での「アート」だと私は思います。

子どもの遊びと舞台、そう言えば「劇」も「遊び」も「プレイ (play)」ですね。そこにどんな共通性と差異があるのかが目下の研究関心です。学生のみなさんと五感をフルに使って学べる日を楽しみにしています。それまでは、遠隔授業、新しい道具を使いこなして学び・遊びましょう！

#### <国際文化コース>

中村 寿(なかむらひさし)講師



全学では第二外国語(ドイツ語)、教育文化学部では欧米文化研究(ドイツ・オーストリア文学文化史)ほかを担当する中村寿といいます。わたしは生まれて高校卒業までは静岡県浜松市で過ごしました。その後、静岡市にて学生生活を送ったのち、大学院博士課程進学のため、札幌に移り、この三月ま

で、北海道の大学でドイツ語を教えてきました。

ドイツはヨーロッパの中心、オーストリアはイタリアとのつながりが深いので、ドイツ語を話す地域は、北海・バルト海沿岸から地中海文化圏にまでまたがっています。世界史の時間に聞いたことがあると思いますが、オーストリア＝ハンガリー帝国時代、ドイツ語はドイツとオーストリアだけでなく、現在のチェコ・ポーランド・イタリア・スロヴェニア・バルカン半島の一部にまでいたる地域の公用語でした。20世紀初め、この帝国では、中・東欧における多民族連邦への移行が構想されています。この構想は、第一次世界大戦後の「国際連盟」を経て、「国際連合(UNO)」、「ヨーロッパ連合(EU)」へと継承されていきます。

「オーストリア多民族連邦」構想からEUにいたる道のりは苦難の連続でした。その最たるものが、ナチスの蛮行と言えます。学部では、18世紀から現代にいたるまでのドイツ文学を題材に、ドイツ人と少数派(ユダヤ人、東欧・中近東からの移民)による葛藤と融和の過程(現在も進行中)を紹介していきたいと思っています。

趣味は街歩きでしょうか。大町・旭南の街並みからは、小樽や余市に似た、北国日本海沿岸都市特有の歴史の古さを感じます。食品スーパーでは、行者ニンニク・かすべの煮つけといった、北海道にもなじみのある食材・惣菜を見かけました。北国秋田を実感した瞬間でした。これから土地の食や文化に触れられることを楽しみにしています。一刻も早い新型コロナウイルス感染症の終息と普段通りの大学生生活の帰還を心から願っています。

#### <心理実践コース>

木村久仁子(きむらくにこ)准教授

はじめまして。地域社会・心理実践講座の木村です。今年の3月31日まで、心理職として秋田県庁で勤務していました。大学での仕事は全く初めてで、まだ毎日学内の案内図を見ながら移動しています。

「県庁」と聞くと、県内出身のみなさんは山王にある建物、県外出身のみなさんもご出身の都道府県にある大きめの建物を思い浮かべるかもしれませんが、もちろん、それも「県庁」ではありませんが、私はそこで働いたことはなく、ずっと児童相談所や精神保健福祉センターなど、地方機関での勤務でした。大館・秋田・横手と、県北から県南まで移り住み、ほとんどの市町村に出張しておりましたので、県内の名産品(特にお菓子)に関する情報はちょっと自信があります。

また、「県庁」と聞くと、おカタイお役所を想像する人も多いかもしれません。確かに、少なくとも秋田県庁の建物の多くは外観も室内も今時のおしゃれなオフィスとはほど遠く、堅くて暗い(ど



こも節電を心がけていますので、お昼休みは真っ暗です) 印象を受けがちです。さらに、学生のみなさんが目にすることは少ないかもしれませんが、お役所の文書という、「返戻」「了知」など他では滅多に目にしない単語が使われがちです。最近では多少緩やかになりましたが、文書の余白は何センチ、知事印は左右の余白が何ミリなど細かな規定も多くありました。私は長年いても覚えられず、お願いなのか御願いなのか、ご挨拶だったかごあいさつだったか、その都度手引きを見ながら確認していました。

そんな窮屈そうなお役所ですが、型にはまっているからこそ、間違いが少ない仕事ができるというメリットもあったと、今、そこを離れて思います。高校までの校則や家族内の決まりごとなど、これまでのルールから少し離れたみなさんと一緒に、決まり切った型のない自由と不自由を味わいながら、一步步教員生活の歩みを進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

### <教職実践専攻>

栗林 守(くりばやし まもる) 特別教授

私は他大学の出身ではありますが、中学校の現職教員として1994(平成6)年に産業教育内地留学で3か月、1995(平成7)年から2年間本学の大学院でお世話になりました。そのため、いつか何らかの形で恩返しができたらいいなと思っていましたが、このたびご縁がありまして本学に勤務することになり、とてもやり甲斐を感じています。

私は「清水の里」あるいは冬の奇祭「竹打ち」で知られる県南の美郷町六郷で生まれ、現在そこから電車を利用しながら通っています。六郷は豊富な地下水に支えられており、今でもほとんどの家庭が地下水をポンプで汲み上げて生活用水として

利用しています。したがって、町の大分部には下水道は整備されているものの、上水道はありません。

さて、私は小学校11年、中学校13年、教育行政13年の勤務を経てきました。学生の皆さんにはその経験を中心にお伝えすることになるかとは思いますが、新鮮な気持ちで皆さんと一緒に学びたいと思いますので、どうかよろしくお願いします。学部学生や院生の皆さんは学業に励むことはもちろんですし、友人たちとの交流を始め広く人と出会い、あちこちを訪ねて見聞を広めることなども大事なことだと思います。本学での学びが充実したものとなることを期待します。院生の皆さんの中には現職教員の方もいらっしゃると思います。教員としていったん学校に配属されて授業だ、行事だ、部活だ、生徒指導だと日々の暮らしに格闘している中では、再び大学で勉強してみようなどとはとても思いつかない現実があります。かつて私もそうでした。しかし、本学で学び直しをしているうちに「研究というのはこういうことだったのか」と思える充実した瞬間がありました。貴重な機会を得て大学院へ派遣されたのですから、どうか全力で頑張りたいと思います。このことがやがて、これからの時代を担う子どもたちの明るい笑顔につながることを信じて。



千秋公園の桜：太平山とのコントラスト



今年の桜祭りは中止でした。来年こそは。

## 年度末・当初の役職の退任及び着任のご挨拶

本来であれば、4月23日の第1回教授会においてご挨拶いただくところですが、コロナウィルスの感染拡大防止のため、教授会が書面開催となりましたので、今回、対象の方々にご寄稿いただきました。

### 理事・副学長退任のご挨拶

#### 国際文化講座 志立正知

二年間の理事任期を終えて、このたび学部に戻って参りました。不在の期間、多くの先生方に業務を肩代わりしていただくなど、さまざまに助けていただきましたことを、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

当面は、教育と研究でのリハビリに励む必要を感じています。本部ではほとんど研究をする時間がなく、日々進んでいる研究状況を横目で睨みながら、この間に読まなければと思って取り寄せてはみたものの、まだ手を付けられずにたまってしまった論文や研究書を、授業開始までの間にできるだけ読もうと、目下格闘している状態です。一方、せっかくだいている科研費関係の仕事もすっかり停滞している状態ですが、こちらは調査に行くことができず、学会・研究会などもすべて中止なので、当面は以前に写真を撮ってきた資料の読み込み、翻字を少しずつ進めています。ただ、脳がすっかりさび付いてしまっているため、少しやっってはため息をつき、という毎日です。

教育に関しては、それ以上に大慌ての状態となっています。新型コロナの影響で、遠隔授業という全くの初めての体験に取り組まなければならないのですが、パソコンやネット関係の機器が苦手なため、悪戦苦闘しています。林信太郎先生をはじめとしたサポートチームの先生方のご苦勞、ご尽力には心から御礼を申し上げます。おかげさまでZoomやWebClassの使い方も、おぼろげながら漸くわかってきたところです。

学部に戻ったといっても、いささか浦島太郎状態で、皆さまにはご迷惑をおかけすることも多いかとは存じますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

### 評価・IRセンター長退任と教育推進主管着任のご挨拶

#### 地域社会・心理実践講座 上田晴彦

大学構内の桜も満開となり、本来ならば春の訪れを堪能できる時期なのですが、今年は全く様相が変わってしまいました。皆様におかれましては、どのようにお過ごしでしょうか。

さて、私は3月末日をもちまして評価・IRセンター長を辞し、4月1日からは教育推進主管を命ぜられ過日着任致しました。在職中は格別のご

芳情に預かり、誠に有難うございました。おかげさまで、認証評価や第3期中期目標期間中間評価の受審準備も一定程度は順調に進み、後任の長縄明大センター長に業務の引継ぎを満足いく形で行うことができました。

4月からは教育推進主管として主に午前中は総合学務課で、午後からは自分の研究室で業務や教育・研究を続ける生活になりました。学務関係の仕事はあまり経験がなく、そのため現在も教育推進主管として、手探りの状態で仕事を進めております。特に今年度は異次元の対応が求められており、業務遂行に苦心しております。コロナウィルス終息の見通しがまったく立たない状況下でも、我々には学生たちに質の高い教育を提供し続ける義務があります。このような中での教育推進主管の仕事は身にあまる重責ではありますが、誠心誠意全力を尽くす決意でございます。皆様の協力が、必要不可欠でございます。何卒、格別のご指導とご厚誼を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 附属小学校長退任のご挨拶

#### 教育実践講座 成田 雅樹

この度、3年間の任期が満了し、附属小学校長を退任いたしました。任期中は学部の先生方、技術職員の方々、事務職員の方々には、大変お世話になりました。

1年目の夏には、いわゆる有識者会議報告がされ、その対応に追われました。学部・教職大学院と附属学校園との連携を強化し、存在意義を明確にすることの一環として、附属小学校では教材研究協力者を委嘱し、教科専門の先生方にもご協力をいただけることとなりました。また、プログラミング教育やICT教育の推進においても、県に先駆けて先進的な成果を出す必要に迫られる中、技術職員の皆様には心強いご支援をいただきました。

2年目は附属学校園長のまとめ役として経営委員長に就任し、4校園の年度計画の取りまとめのためにエビデンスを整えることに奔走いたしました。この過程においては総務をはじめとする事務部の皆様にご支援をいただきました。皆様、本当にありがとうございました。

当初の思いに反して、かけがえのない出会い、経験が得られ、なにより教育観が変わった3年間でした。今後は誠に微力ではありますが、はとの

子たちのために、お役に立てる面で力いっぱい働くつもりです。

### 附属小学校長着任のご挨拶

#### 教育実践講座 外池 智

この度、附属小学校長として着任いたしました外池です。附属小学校では、4月6日に始業式を校内放送で実施したのですが、翌日から休校。そして4月8日に予定されていた入学式も中止となりました。子ども達も保護者の皆様も大変楽しみにされていたそのお気持ちを思うと、本当に胸が痛みます。私も大変楽しみにしておりましたし、本当に残念です。附属小学校でも、授業再開は連休後となっておりますが、子ども達への健康チェックは毎日なされていますし、課題も毎日出されています。今後も手探りの状態が続きますし、例年と違って時間割や行事の中止や変更も多々あります。それに伴って、本学部1年生の「教職入門」、2年生のI期実習、4年生の副免実習、そして教職大学院の実践実習科目等、附属属小学校での実践的授業場面も変更を余儀なくされます。例年と違う事ばかりの連続ですが、千葉圭子副校長先生、堀川修教頭先生、佐々木雅巳教務主任をはじめとする各先生方は極めて対応力に優れており、助けられています。

通常の様子が分からない上に、最初からイレギュラー続きの日々です。微力な新米校長ですが、何とか精一杯努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 教職高度化センター長退任のご挨拶

#### 英語・理数教育講座 佐藤 学

本年3月をもって2年の任期を満了し、教職高度化センター長を退任いたしました。この2年間の成果としては、教職高度化センターへの改組をはじめ、附属学校園研究の包摂によるセンター研究紀要の拡充化、まなびの総合エリア大学教員派遣事業における附属学校園研究の公開、あきたの教師力高度化フォーラムにおけるプログラミング教育の推進、附属校園におけるプログラミング教育に係る環境整備、模擬授業フェスティバル開催、教員採用試験に向けて学生支援、秋田県総合教育センター・秋田市教育研究所との連携強化、秋田刑務所との連携による心理実践セミナー開催、臨床心理相談の料金改訂に取り組みました。そのいずれも、センター担当教員、センター連携教員をはじめ、構成員の皆様のご支援、ご協力があったなし得たことであります。

教職高度化センターは、教育工学の教育と研究の中核として発足した附属教育実践研究支援セン

ターに始まり、その時代、時代の要請を受けて名称と組織を改変し、今日に至っています。

しかし、コロナウイルスの感染拡大は、私たちの日常を一変させました。早く日常の生活に戻りたいと願うのですが、終息の先にあるのは、新しい秩序です。学校教育も地域社会も、新たな秩序によって展開されることでしょう。そのとき、秋田大学教育文化学部が地域のリーダーとしてその責務を果たすことができるよう、広い視野と専門性に保証された精深な学識と、豊かな人間性・社会性を備えた実践力を、より一層充実していくことが必要です。教師力高度化センターには、その重責を担う一機関として更なる発展を期待します。

皆様におかれましては、どうか倍旧のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。私の退任のご挨拶といたします。

ありがとうございました。

### 教職高度化センター長着任のご挨拶

#### 教職実践専攻 鎌田 信

4月から附属教職高度化センター長を務めることになりました。皆様のご協力を仰ぎながら本センター機能の充実と運営に努めたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

教職高度化センターは昨年、時代の要請に応え関係教育機関との一層の連携を図りながら、教員の養成・採用・研修の一体的改善を踏まえた教職の高度化を推進する目的で改組しました。広く教育に関する理論的、実践的な研究や教員養成・研修機能の強化に向けた取り組みを行い、これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上と学校現場のニーズに沿った教員養成・研修の高度化に貢献していきます。

これまでに秋田県総合教育センター・秋田市教育研究所との一層の連携を図るために、当センター及び秋田県総合教育センター内に連携推進室を設置し、指導主事を講師とした実践的な授業の推進や、専門的知見をもつ大学教員を研究アドバイザーとして派遣するなどの具体的な取り組みを行ってきました。

今年度は秋田県教育委員会と連携して、教員の大量退職に伴う管理職層の質の補償に寄与するため、教職大学院の有する高度な理論を提供するパッケージ型研修講座の開催を企画しています。

今、世界では新型コロナウイルス感染防止のため、物理的なつながりが生じないように人と人との距離を置くことが求められています。このような状況下ではありますが教職高度化センターでは大学と教育機関、学校、そして人と、本県教育の質の向上という大きな共通認識でつながり、教職の高度化を推進していきたいと思っております。

## 2020年度日本学術振興会科学研究費の新規採択状況

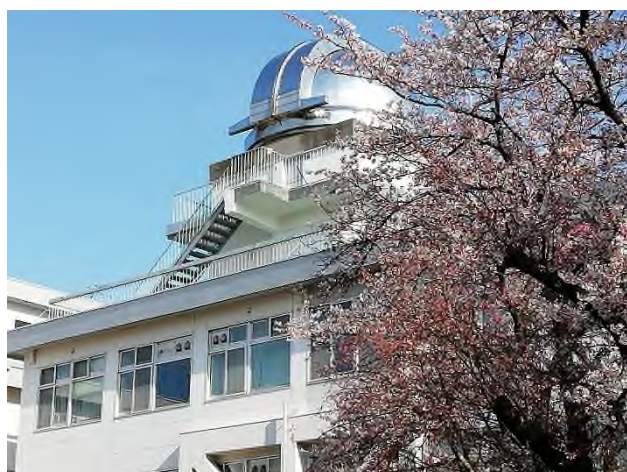
以下の12件が新規に採択されました。

また、独立行政法人教職員支援機構の「教員の資質向上のための研修プログラム開発・実施支援事業」において、本学部から申請していた「秋田

県教育委員会と教職大学院の連携による学校組織開発リーダーと学校ミドルリーダー養成プログラムの開発」が採択されました。期間は今年度1年間で、交付金額は2,210,000円です。

期間	種類	氏名	職	課題名	総額
R2	奨励研究	山下 清次	技術専門職員	縮尺効果を考慮した流水の働きモデル実験装置の開発	360,000
R2-R5	基盤研究(B)	佐々木 和貴	教授	「シェイクスピア崇拜」と18世紀イングランド娯楽ビジネス	17,680,000
R2-R4	基盤研究(C)	長谷川 章	教授	現代ロシアにおけるソビエト・ポップカルチャーの再解釈・文脈変遷の事例研究	1,560,000
R2-R4	基盤研究(C)	佐々木 千佳	准教授	ルネサンス期ヴェネツィアの祭壇画制作における協働に関する研究	3,770,000
R2-R4	基盤研究(C)	PATERSON Adrian	准教授	The efficacy of physical training techniques used in sports to develop muscle memory for foreign language pronunciation	4,030,000
R2-R4	基盤研究(C)	西川 竜二	准教授	公的統計を用いた各種住宅水準がヒートショック関連死亡率に与える市町村別の影響分析	910,000
R2-R5	基盤研究(C)	原 義彦	教授	生涯学習施設の質評価・診断・改善システムの開発と体系化—公民館を中心として—	4,290,000
R2-R4	基盤研究(C)	加納 隆徳	講師	民事法に関わる18歳成人に求められる資質・能力を明確化した教育研究	2,080,000
R2-R4	基盤研究(C)	中野 良樹	教授	おもちゃを軸に心理実験と小学校生活科授業を統合した学び合いのプラットフォーム構築	2,860,000
R2-R4	基盤研究(C)	北島 正人	准教授	犯罪者の心理的特性と再犯防止教育 —受刑者および社会への心理的アプローチの検討—	3,640,000
R2-R5	若手研究	小倉 拓也	准教授	思想史的位置づけと基本諸概念の解明をととしたアンリ・マルティネの哲学の体系的研究	2,210,000
R2-R4	若手研究	鈴木 徹	准教授	ASD児における自他理解の枠組みを用いた社会的相互作用の解明	2,080,000

\* 総額は期間全体の直接経費と間接経費の合計です。



秋田市の桜開花は4月8日、満開は4月15日でした。記録的な暖冬の影響か、開花は1953年からの観測史上2番目に早く、平年より10日、昨年より8日早くなりました。学生がいない中で咲き誇る桜はどこかしら淋しさを感じさせます。







【学生協議会学生委員会便り】

## 自宅待機でこころがけていること

こんにちは！秋田大学教育文化学部地域文化学科3年次の池田咲希です。今回、学生協議会のメンバーとして「みなおと」に寄稿させてもらうことになりました。

さて、皆さんは現在どのようにお過ごしですか。例年であれば、今の時期は新学期も始まり、時間割にも少しずつ慣れてくる時期だと思います。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で全く異なる状況になってしまいました。大教室で講義を受けたり、友だちと学食を食べたり、サークルに参加したり…と当たり前が始まると思っていた大学生活を送ることができなくて、とてもさみしく感じています。また、今年度秋田大学に入学した新入生の皆さんと会えないこともとても残念です。秋田大学は5/11から遠隔授業が始まりますね。オンラインという形でも秋田大学の先生や友だちとつながることが楽しみです。

今回は新型コロナウイルスの影響でお家にいる時間が増えた今、「自宅待機の過ごし方」をテーマに書かせていただこうと思います。皆さんはお家で何をしていますか？私自身こんなに長い時間を家で過ごすことは今までなかった気がします。だからこそ読書をしたり、資格の勉強をしたり、掃除をしたり…と普段生活に追われてできなかったことに挑戦できる機会でもあるのかなと思っています。最近様々なメディアでもお家の過ごし方が提案されていたり、みなおとの増刊号でも先生方がどのように過ごしているのか読んだりできますよね。自宅待機中にやりたいことを考えると少しワクワクしてきます。今回は自宅待機の時間を過ごす時に、私なりに心がけていることを3つ書いていこうと思います。

### ①手帳を活用する

予定があまり入らない今、どうやって手帳を使うの？と思った方もいるかもしれません。私の手帳はマンスリーページの他に、週ごとのウィークリーページもついているタイプなのですが、最近そのウィークリーページを活用しています。具体的にはウィークリーページを区切って“To Do リストを書く欄”、“1日のざっく



最近たくさん使っている手帳

地域社会コース3年次 池田咲希  
りとした予定を書く欄”、“日記を書く欄”という風に分けて記録できるようにしています。これができるだけ毎日書くようにすることで、1日を無駄にしないで過ごせるようになりました。自分の時間が多い今だからこそ、この使い方は有効な気がします！

### ②オンラインで人と話す

外出自粛が言われている今、オンライン飲み会やテレワークなどオンラインを使った人とのつながりが見直されてきていますよね。私はこのオンラインで友だちと話したり、会議をしたりする時間を大事にしようと思っています。人と話せて楽しいのはもちろんですが、家の中にいながらも人とつながることができているという安心感が得られる気がします！今、都市部でイベントが開催できないため、地方生の就活も不利ではないというお話も聞きました。オンラインでのイベントも徐々に増えてきたので、この機会に興味があるものに参加してみようと思っています。

### ③適度に運動する

自宅待機中でも運動が大切であることは様々なメディアで言われていますよね。私も気分転換のため、天気の良い日は近所を散歩したり、家の中でストレッチをしたりしています。そして運動したことを①で話したように手帳に記録しています。これは運動を日課にするための工夫で、記録をすると「今日もやらないと！」という気持ちになります。何より楽しく気分転換のために続けられたらなと思っています。

今回は自宅待機中私が心がけていることを3つ書かせてもらいました。皆さんは自宅待機中どのように過ごしていますか？いろいろな方の過ごし方ぜひ聞いてみたいです！

今は早く普通の生活の戻ることを願うばかりです…！それまでの間、各々が自分の時間を有効的に使えるといいですね。秋田大学の校内で直接皆さんと会える日を楽しみにしています！



昨年4月に大学構内で撮影

## 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

\*一部不明・不正確な箇所があります

### 【全国】

- 2/28：全国の小中高特に春休みまで臨時休業要請
- 4/7：5/6まで7都府県（埼玉、千葉、東京、神奈川県、大阪、兵庫、福岡）に改正新型インフルエンザ等対策特別措置法の初の緊急事態宣言発令
- 4/16：緊急事態宣言が全国に拡大

### 【秋田大学】

- 1/21 通知：不要不急の海外（特に中国）渡航検討要請、海外渡航届提出要請
- 1/27 通知：中国渡航自粛要請、他地域への不要不急の海外出張検討要請、海外渡航届の提出要請
- 2/19 通知：中国渡航禁止・2週間自宅待機、その他の海外渡航自粛要請
- 2/19 通知：国内外の真に必要な用務以外の出張、公共交通機関利用の私事旅行の自粛要請
- 3/2 通知：中国・韓国・イラン・イタリアへの渡航禁止、帰国後の報告要請
- 3/2 通知：イベント等の自粛要請
- 3/5 通知：3/15までイベント等の自粛要請
- 3/6 通知：課外活動（含懇親会）自粛、課外活動施設使用禁止
- 3/12 通知：濃厚発生地域への渡航禁止、海外渡航の事前相談要請
- 3/12：感染防止対策をして後期日程実施
- 3/12 通知：3/19までのイベント等の自粛要請
- 3/13 通知：3/19まで課外活動中止
- 3/18 通知：3/31までのイベント等の自粛要請
- 3/19 通知：3月末まで課外活動中止
- 3/24：卒業式（県立武道館）中止
- 3/25 通知：全世界への渡航禁止、帰国後2週間自宅待機・健康観察
- 3/25 発表：在学生は4/3から、新入生は4/5から秋田への居住開始、2週間の健康観察期間、健康観察票への記入を要請
- 4/10 新入生プレガイダンス、4/16 在学生ガイダンス、4/17 新入生ガイダンス、4/20 授業開始、4/29・5/4-6は授業日、8/7で前期終了予定
- 3/25 通知：感染拡大地域からの新規採用者は来県後2週間の自宅待機・健康観察
- 3/26 通知：東京都への出張・私事旅行の自粛要請
- 3/26 通知：4/19まで課外活動中止
- 4/2 通知：感染拡大地域（感染者10名以上）への出張・私事旅行の見合わせ要請、帰国後2週間自宅待機・健康観察
- 4/3以降：学生の建物内への立入禁止、自宅待機やむを得ない場合は立入の特別許可証発行
- 4/3 通知：首都圏での就活自粛、移動した場合秋田での2週間自宅待機・健康観察
- 4/6：入学式（県立武道館）中止

- 4/7 通知：学生：無届の県外移動の禁止、やむを得ない県外移動は事前相談と事後報告の要請

- 4/8 通知：新入生プレガイダンスの中止
- 4/9 通知：授業開始の延期、遠隔授業での5月連休明けを予定、新入生・在学生ガイダンス中止
- 4/10 通知：当面の間、課外活動、課外活動施設使用禁止
- 4/10 通知：学生：県外・海外からの来県者への接触自粛要請
- 4/14 通知：県外の出張・私事旅行の見合わせ要請、同居家族も同様、職員・同居家族が県外移動の場合は帰国後2週間の自宅待機・健康観察
- 4/15 通知：不要不急の外出自粛要請
- 4/16 通知：5/11から授業開始、9/1で前期授業は終了予定、4/20-30履修登録期間、4/20：手形地区の入構を正門に限定、入構制限
- 4/21 通知：学生への秋田大学奨学資金制度開始
- 4/21 通知：各団体等の行事中止、外出自粛
- 4/23 通知：5/6まで教員の在宅勤務要請
- 4/24 通知：4/27～当面の間、事務職員・技術職員等の在宅勤務要請
- 4/24 通知：不要不急の外出自粛要請

### 【本学部・研究科】

- 3/4：学部退職者歓送会の中止
- 3/24：コース等の単位で学位記等を伝達旭水会主催卒業を祝う会中止
- 4/9以降：学部の新入生全員への電話連絡実施Webclass等を活用した交流の開始
- 4/13：遠隔授業サポートチーム発足短期集中的にFDや各種サポートの実施
- 4/13以降：学部在学生への電話・メール連絡実施みなおと増刊号発行開始
- 4/23：学部教授会が書面開催

### 【附属学校園】

- 3/2-春休み：休校園
- 3/7中、3/10特、3/12幼、3/16小の卒業・園式は来賓なし、在学生なしで実施
- 終業式・離任式は中止
- 4/6：始業式実施
- 4/7-4/17：再度の休校園
- 4/7中、4/8特・小、4/10幼の入学・園式中止（秋田市立小中学校等は4/12-4/26に休校）
- 4/20-5/6：休校園延長（県内小中学校等は5/6まで休校）



## 【修正版】2020年度主な役職者等の紹介

### ◎執行部

学部長 佐藤修司  
 副学部長（教育・教員養成・財務・施設担当） 武田 篤  
 副学部長（研究・地域連携・点検評価・広報担当） 林 良雄  
 教職高度化センター長（教職大学院担当） 鎌田 信  
 附属学校園代表 藤井慶博  
 学部長補佐（地域連携・FD担当） 白木智昭  
 学部長補佐（教員養成・附属担当） 小池孝範  
 学部長補佐（学生指導・特命担当） 林 正彦  
 学部長補佐（国際交流・広報担当） 長谷川章  
 事務長 高橋尚之

地域連携委員長 林 良雄  
 地域文化コアカリキュラム委員長 渡辺英夫  
 国際交流委員長 佐々木雅子  
 留学生委員長 佐々木雅子  
 広報委員長 林 良雄  
 点検・評価委員長 林 良雄  
 学生協議会議長 白木智昭  
 学生支援基金運営委員長 白木智昭  
 財務委員長 武田 篤  
 施設利用計画検討委員長 武田 篤  
 安全管理委員長 武田 篤  
 情報システム管理委員長 佐々木重雄  
 人事委員長 佐藤修司  
 人権倫理委員長 佐藤修司

林 良雄  
 渡辺英夫  
 佐々木雅子  
 佐々木雅子  
 林 良雄  
 林 良雄  
 白木智昭  
 白木智昭  
 武田 篤  
 武田 篤  
 武田 篤  
 佐々木重雄  
 佐藤修司  
 佐藤修司

### ◎課程・学科・専攻・コース等

学校教育課程主任 遠藤敏明  
 教育実践コース主任 吉澤恭子  
 英語教育コース主任 佐々木和貴  
 理数教育コース主任 岩田吉弘  
 特別支援教育コース主任 前原和明  
 こども発達コース主任 瀬尾知子  
 地域文化学科主任 和泉 浩  
 地域社会コース主任 林 武司  
 心理実践コース主任 森 和彦  
 国際文化コース主任 佐々木千佳  
 教職実践専攻長 鎌田 信  
 学校マネジメントコース長 原 義彦  
 カリキュラム・授業開発コース長 田仲誠祐  
 発達教育・特別支援教育コース長 藤井慶博  
 心理教育実践専攻長・コース長 中野良樹

### ◎附属関係

附属幼稚園長 宇野 力  
 附属小学校長 外池 智  
 附属中学校長 原 義彦  
 附属特別支援学校長 藤井慶博  
 附属学校運営会議長 佐藤修司  
 附属学校経営委員長 藤井慶博  
 附属学校学部共同委員長 外池 智  
 附属学校子どもの人権委員長 小池孝範

宇野 力  
 外池 智  
 原 義彦  
 藤井慶博  
 佐藤修司  
 藤井慶博  
 外池 智  
 小池孝範

### ◎大学本部（本学部関係）

教育推進主幹 上田晴彦  
 学長補佐（地域協働・COC+担当） 白木智昭  
 地方創生センター副センター長 白井智昭  
 学長補佐（男女共同参画担当） 山名裕子  
 教員免許状更新講習推進センター長 森 和彦  
 " 副センター長 山名裕子  
 ハラスメント・学生相談所相談員 堀江さおり

上田晴彦  
 白木智昭  
 白井智昭  
 山名裕子  
 森 和彦  
 山名裕子  
 堀江さおり  
 前原和明  
 大西洋一  
 小野寺倫子  
 学生相談所専門相談員 柴田 健

### ◎各種委員会等

学部運営会議長 佐藤修司  
 教育企画会議長 武田 篤  
 学術研究推進会議長 林 良雄  
 FD推進委員長 白木智昭  
 入学試験委員長 山名裕子  
 教務学生委員長 林 正彦  
 学務委員長 佐々木雅子  
 キャリア委員長 篠原秀一  
 教員養成委員長 武田 篤  
 教職入門実施委員長 細川和仁  
 教育実地研究実施委員長 石井照久  
 教育実習実施委員長 成田雅樹  
 介護等体験実施委員長 前原和明  
 教職実践科目実施委員長 加納隆徳  
 保育士養成実施委員長 山名裕子



\* 変更箇所は下線部分

グラウンド横の紅白桜  
二本の桜がたまたま一緒に育ったようです

## 2020年度事務部・技術部等（本学部・研究科関係）の体制

【5月1日現在】

事務長	高橋尚之
総務担当	
総括主査	川辺朋矢
主査	豊嶋彩子
事務職員	櫻田沙弥佳
"	鎌田夏帆
事務系スタッフ	赤坂宏美
"	太田 葵
"	佐々木紹子
"	真田心子
"	鈴木蘭子
"	高山美千世
"	茂木蓉子
"	朝倉由美子
"	太田 葵
"（臨床心理相談室）	成田明子
会計担当	
総括主査	工藤忠正
主査	佐々木浩光
事務職員	梁田鈴子
事務系スタッフ	長尾徳子
附属学校園	
事務室長	榎 清幸

事務系スタッフ  
森 祐美  
今野景子



入試課（教育文化担当）

総括主査 進藤 均  
事務系スタッフ 佐藤麻衣子  
学生支援・就職課  
事務職員 林孝太郎  
事務系スタッフ（就職情報室） 三鍋治世  
" 齋藤美翔



総合学務課（教育文化担当）  
主査 長谷川寛子  
事務職員 佐藤麻衣  
" 杉澤 明  
" 仁野綾子



技術部

総括技術長 成田堅悦  
技術長 毛利春治  
" 小林 到  
技術専門職員 若杉 圭  
" 山下清次  
技術職員 綿谷健佑

### 発行 秋田大学教育文化学部／教育学研究科

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 TEL 018-889-2509 FAX 018-833-3049

教育文化学部・教育学研究科HP <http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/>

学部研究科通信「みなおと」バックナンバー⇒[http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu\\_magazin.html](http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_magazin.html)

教職大学院通信「暁鐘の音（かねのね）」⇒[http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/graduate/graduate\\_magazin.html](http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/graduate/graduate_magazin.html)

\* 誌名「みなおと」の由来である秋田県女子師範学校校歌（1910年制作）を聴くことができます。

[http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu\\_symbol.html](http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_symbol.html) をご覧ください。